

事業番号	09 03 05	事業改善シート（25年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水田農業経営確立推進指導事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	農業技術課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		E-mail	nogi@pref.nagao.lg.jp		
				実施期間	H12 ~		

1 事業の概要

目指す姿	○需要に応じた米の計画的生産を行うことにより価格の安定を図り、競争力のある効率的な経営の実現を目指す。					
現状	○米の供給は過剰傾向が続いており、県内においても国から示される米の生産数量の目標を上回る生産がされている。 ○H24目標面積32,676ha→米の作付面積33,074ha(達成率98.8%)					
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 需要に応じた米づくりを推進する上で地域間や農業者間の調整が必要であり、県を含めて行政機関等の関与が必要。根拠法令:主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律、米政策改革基本要綱				
	県民との協働による実施: 困難					
事業内容	① 成果目標(H25) 米の需給調整達成率100%(目標面積÷主食用水稻作付面積) ①主食用食糧の需給及び価格の安定に関する法律、米政策改革大綱に基づき、米穀の適正かつ円滑な流通を確保する②国、地方公共団体、農業団体等関係機関が一体となって需給調整に取り組む必要がある③国から示される数量目標に即した生産をする必要があることから設定した。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H25事業実績		H26	
			(当初)	(決算)	(当初)	
水田農業経営確立推進指導事業	補助・直接	需給調整推進を行うため、市町村に対し補助金を交付した。(農業者間の調整、転作作物の試験栽培、飼料用米等新規需要米の需要拡大等の活動)		21,377	18,163	19,212
		合計		21,377	18,163	19,212

事業	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
		前年度繰越			
予算額	当初予算	35,084	27,441	21,377	19,212
	補正予算				
	合計(A)	35,084	27,441	21,377	19,212
	国庫支出金				
Aの財源	県債				
	その他()				
	一般財源	35,084	27,441	21,377	19,212
	決算額(B)	34,207	20,254	18,163	
概算人件費	職員数(人)	5.00	5.00	5.00	5.00
	概算人件費(C)	41,290	41,290	41,290	41,290
	概算事業費(B(A)+C)	75,497	61,544	59,453	60,502

項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
米の需給調整達成率	98.8%	100%	99.1%	未達成	-
水田活用の直接支払交付金加入面積					11,238ha

目標に対する成果の状況

- 行政、農業団体等関係機関が一体となって調整活動に取り組むとともに、生産数量目標を上回った8地域に対しては、目標達成に向けた行動計画に沿った取組を進めた結果、7地域で目標を超過し、25年産米の作付目標面積32,822haに対して、実績面積は33,124haで302ha超過、達成率99.1%で前年の実績に対し0.3ポイント上回ったものの、転作作物の導入が進まない地域があり、目標達成には至らなかった。
- 国の米政策の見直しの中で、水田活用の直接支払交付金を充実させるなど需要のある転作作物の生産を振興しつつ、行政による生産数量目標の配分に頼らずとも農業者や生産者団体が自らの経営判断や販売戦略に基づき、需要に応じた米生産ができる状況にしていくこととされた。このため、26年度の達成目標を同交付金の加入面積に変更した。

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・26年度においては、市町村が行う需給調整の推進に対する支援を基本としつつ、地域にあった転作作物や県オリジナル品種の導入・定着を推進するため事業を実施する。 ・26年度予算では県オリジナル品種の導入支援を事業対象とすることとし、当該事業の補助金交付要綱を一部改正した。 ・27年度予算に向けては、転作作物の生産振興による水田活用をさらに進めるため事業内容について検討する。
--------------------	---